市町村名	中城村

沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート 【後年度発現事業】

事業名	防災体制整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－（4）－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務課	事業実施年度：平成26 ～ 令和2 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－（2）
事業内容	災害時における住民及び観光客の安全を確保するため、災害時に村民や観光客等が避難所生活を送ることとなった際に必要となる生活物資や備蓄品等の整備を行う。			
実施方法	■ 直接実施　□ 委託　□ 補助　□ 負担　□ その他（　）			

事業期間中の予算額・執行額【単位:千円】

	～30年度	R1年度	R2年度		合計
A. 予算現額	20,295	2,020	770		23,085
B. 執行済額	19,347	1,378	752		21,477
うち交付金充当額	15,475	1,102	601		17,178
執行率（%）(B/A)	95.3%	68.2%	97.7%		93.0%
執行状況の説明	最終的な執行率は93%となり、概ね計画的に執行できた。				

事業期間中の活動目標

活動目標（指標）	達成状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
・非常食　備蓄整備	目　標	1,750食	1,250食			
	実　績	1,750食	1,250食			
・ソーラー信号機の整備	目　標		実施			
	実　績		実施			
・防災マップ機能強化	目　標		実施			
	実　績		実施			
敷きマット及び照明器具の整備	目　標			実施		
	実　績			実施		
吸水性土のう、防水シート	目　標				実施	
	実　績				実施	

事業期間中の成果目標

成果目標（指標）	進捗状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
・非常食　備蓄整備	目　標	購入	購入			
	実　績	購入	購入			
・ソーラー信号機の整備	目　標		整備完了			
	実　績		整備完了			

事業期間中の成果目標	・防災マップの更新完了	目 標		更新完了			
		実 績		更新完了			
	敷きマット及び照明器具の整備	目 標			整備完了		
		実 績			整備完了		
	吸水性土のう、防水シート	目 標				整備完了	
		実 績				整備完了	

事業完了後の取り組み

	成果目標（指標） □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成／進捗状況	R1年度	R2年度	R3年度		R4年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	防災体制整備事業で整備した備品等を活用し、防災訓練を年2回実施	目 標	年2回	年2回	年2回		年2回
		実 績	年2回	年2回	年2回		

状況説明

【R2年度】
・これまで様々な災害を想定し備品等を整備してきたが、令和2年度に水害対策用備品も整備できたことであらゆる災害に対応することができるようになった。

【R3年度】
・防災体制整備事業で整備した備品等を活用し、訓練を実施する予定でしたが、6月の土砂災害・全国防災訓練は特別措置法に基づく緊急事態措置により中止、、3月の3.11地震・津波避難訓練は天候不良によりそれぞれ計画はしていましたが中止となった。

【完了後】事業効果等の確認 （施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等）	【完了後】改善措置等の検討 （事業効果の更なる向上等）
【R2年度】 ・本事業で生活物資、災害対策用備品を整備したことにより、災害時の避難所運営及び初動体制の強化ができた。 【R3年度】 ・本事業で生活物資、災害対策用備品を整備したことにより、災害時の避難所運営及び初動体制の強化ができた。	【R2年度】 ・災害時に迅速に対応できるよう防災訓練等で整備した防災資機材等を活用する必要がある。 【R3年度】 ・災害時に迅速に対応できるよう防災訓練等で整備した防災資機材等を活用する必要がある。

今後の取り組み方針（関連・同種事業へのフィードバック等）

【R2年度】
・今後も生活物資の拡充や防災資機材の整備を行い、住民や観光客の更なる安心安全確保のため防災体制の強化を図る。

【R3年度】
・今後も生活物資の拡充や防災資機材の整備を行い、住民や観光客の更なる安心安全確保のため防災体制の強化を図る。

市町村名	中城村

沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【中期的検証事業】

事業名	7-① （仮称）護佐丸歴史資料図書館整備事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア 文化活動を支える基盤の形成
担当部課名	教育委員会	生涯学習課	事業実施年度	平成24 ～ 平成27 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)
事業内容	沖縄や中城村の歴史、文化、世界遺産等について村民が学べる場所であり、それらを村内外に広く知らしめる情報発信拠点として、また、災害時の安全を確保するため防災機能(タワー)も兼ねた複合施設として、中城村護佐丸歴史資料図書館の整備を行う。					
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他（ ）					

事業期間中の予算額・執行額【単位:千円】

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	合計
実績報告上の総事業費（最終）	116,741	88,888	1,054,226	497,243	**1,757,098**
A. 予算現額	115,506	88,812	1,054,226	497,243	**1,755,787**
B. 執行済額	115,506	88,812	734,001	497,243	**1,435,562**
うち交付金充当額	92,404	71,049	587,201	397,794	**1,148,448**
執行率(%)(B/A)	100.0%	100.0%	69.6%	100.0%	**81.8%**
執行状況の説明	入札の結果、入札残による減額が生じたたが予算は目的どおり適切に執行できた。				

事業期間中の活動目標

活動目標（指標）	達成状況	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	
（仮称）護佐丸歴史資料図書館の建設工事の実施	目 標	基本構想・基本設計の作成、建設用地の購入	実施設計の実施	磁気探査調査、施工監理、杭打工事、建築工事、機械設備工事、電気設備工事の実施	施工監理、建築工事、機械設備工事、電気設備工事、外構工事、展示工事等の実施	
	実 績	基本構想・基本設計の作成、建設用地の購入	実施設計の実施	磁気探査調査、施工監理、杭打工事、建築工事、機械設備工事、電気設備工事の実施	施工監理、建築工事、機械設備工事、電気設備工事、外構工事、展示工事等の実施	

事業期間中の成果目標

成果目標（指標）	進捗状況	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	
観光拠点整備に向けた整備の完了	目 標	基本構想・基本設計の作成、建設用地の購入	実施設計の完了	磁気探査調査、施工監理、杭打工事、建築工事、機械設備工事、電気設備工事の完了	施工監理、建築工事、機械設備工事、電気設備工事、外構工事、展示工事等の完了	
	実 績	基本構想・基本設計の作成、建設用地の購入	実施設計の完了	磁気探査調査、施工監理、杭打工事、建築工事、機械設備工事、電気設備工事の完了	施工監理、建築工事、機械設備工事、電気設備工事、外構工事、展示工事等の完了	

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標

成果目標（指標） ■ 中期にわたる事業効果 □ 後年度に発現する事業効果	達成／進捗状況	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度 目標/発現年度
年間利用者数	目　標	－	－	－	－	91,300人
	実　績	78,040人	82,797人	88,930人	47,773人	50,688人

状況説明

【R1年度】
・地域の魅力を掘り起こすようなイベントの開催をすることができた。
・利用者数は、前年度に比べ、順調に伸びている。
・各小学校での「ごさまる科」における活用も浸透してきた。

【R2年度】
・新型コロナの影響で長期の休館等を余儀なくされ、予定していたイベントの中止や企画展の中断など、思うような活動ができず、利用者数が減少した。

【R3年度】
・新型コロナの影響が続き、臨時休館の日数が増え、イベントの中止、企画展の中断や延期など、運営に苦慮した。
・制限のある中でも、感染対策を行い、サービスの提供に努めた。資料図書室の利用者数・貸出冊数は、年度後半の開館再開後は前年度より増加した。

【完了後】事業効果等の確認
（施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等）

【R1年度】
・村内小学校における「ごさまる科」授業での活用や、各種団体等の見学受入が定着してきている。また、伝統芸能イベントの定例化や、村の特産品である島ニンジンの日イベントを当館で開催するなど、地域の文化・情報発信の場、防災施設（R1年度は村内自治会の自主防災組織対象の図上訓練及び台風時の避難所を設置）として活用されるようになってきた。

【R2年度】
・コロナの影響で厳しい状況の中、感染対策を行って地域の人物や団体に焦点をあてた企画展を開催。密集を避ける工夫をしながら、村内小学校のごさまる科や団体の案内を行った。また、閉館中、入口に臨時カウンターを設置し、予約や取り置きの本の貸出を行った。

【R3年度】
・臨時休館が前年度より増え、運営に苦慮したが、感染対策を行い、休館中の臨時カウンターや郵送での貸出サービスの提供、貸出可能冊数増など、利用者サービスに努めた。また、はじめてオンライン配信併用のイベントを開催するなど、コロナ下における新たな取り組みを行った。

【完了後】改善措置等の検討
（事業効果の更なる向上等）

【R1年度】
・継続して沖縄や村の歴史文化を紹介する企画展示（R元年度は組踊初演350周年にちなんだ企画展・講演会や村の字展（地域展）の開催等）・イベント等を行うとともに、琉球大学附属図書館・博物館学外展や、防災関連の訓練等のように、他機関との連携を通して、より地域の魅力を発信する場、地域に密着した施設となるよう取り組みを行う。

【R2年度】
・コロナ禍の中で、感染対策に工夫をしながら、企画展や開催可能なイベントを検討・実施していく。また、利用者への資料の貸出を継続する工夫を重ねていく。

【R3年度】
・地域の歴史に焦点をあてる企画に継続して取り組んだ。（戦後引揚展）その関連で、県外の博物館との合同企画展やシンポジウムが実現するなど、新たな取り組みにつながった。
・村内小学校における「ごさまる科」への協力を継続。より活用してもらえるよう連携を深める。
・貸出可能冊数を増やし、利用者のニーズに応えるよう努めた。通常サービスとしての継続も含め検討する。

今後の取り組み方針（関連・同種事業へのフィードバック等）

【R1年度】
・継続して村内外の組織機関や地域との連携を通し、地域に密着した活用とニーズの把握に努めるとともに、講演会や企画展、イベントによる地域の魅力の情報発信を継続して行う。

【R2年度】
・コロナ対策を継続し、感染状況を注視しながら運営を行うとともに、村内小中学校や村機関を中心に、情報交換を積極的に行う中で、資料図書館へのニーズをくみ取りながら、地域の魅力を発信を継続する工夫を行う。

【R3年度】
・コロナ対策を継続し、感染対策や形式に工夫をしながら、イベントや企画などの開催に努めるとともに、引き続きごさまる科をはじめとした学校等との連携をすすめる。
・地域の歴史文化に焦点をあてた企画展の反響を多く感じる。今後も地域をテーマにした企画に取り組む。